

2018年2月14日

関係機関の長 殿

摂南大学  
新学部開設準備委員会  
委員長 八木 俊策  
<公印省略>

農学部 専任教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、摂南大学では、2020年4月に新たに「農学部」を開設すべく、鋭意準備を進めております（2019年3月、設置認可申請予定）。この度、同学部におきまして、下記の要領により教員を公募することとなりました。

つきましては、関係部門（各位）へのご周知並びに適任者のご推薦について、お取り計らいくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 採用予定人数

- 農業生産学科（仮称） 9名程度
- 応用生物科学科（仮称） 4名程度
- 食品栄養学科（仮称） 6名程度
- 食農ビジネス学科（仮称） 8名程度

※学部・学科の概要については、別紙2「摂南大学農学部の概要」をご参照ください。

2. 主たる担当授業科目

学科により異なります。別紙3「摂南大学農学部 教員公募 募集分野一覧」をご確認ください。

3. 採用予定区分

専任教員

4. 採用予定職位

教授、准教授

## 5. 勤務地

主として、摂南大学枚方キャンパス（大阪府枚方市長尾峠町45-1）

## 6. 採用予定時期

2020年4月1日を原則とします。

## 7. 正式採用条件

本公募は、2020年に予定する農学部の新設に伴うものです。そのため、正式採用にあたっては、以下の要件が充足することを条件とします。

- (1) 文部科学省への当該学部の設置認可申請が「認可」されること。
- (2) 前項の設置認可申請に係る教員資格審査において、「適格」と判定されること。
- (3) 厚生労働省への管理栄養士養成施設指定申請に係る教員資格審査において、「適格」と判定されること。【食品栄養学科のみ】

## 8. 応募資格

以下の要件を満たすこと。

- (1) 本学の「建学の精神」を尊重できる者（別紙1「摂南大学の『建学の精神』」参照）。
- (2) 博士の学位を有する者（見込みの者を含む）、またはそれと同程度の能力があると認められる者。ただし、食品栄養学科については、別紙3「摂南大学農学部 教員公募 募集分野一覧」に記載する「その他応募要件」を満たす者。
- (3) 優れた研究業績を有する者（国内外の著名な学会誌・ジャーナルに査読付き論文を有することが望ましい）。
- (4) 情熱を持って、教育(学生指導を含む)、研究、社会貢献活動、大学(学部)運営に従事できる者。
- (5) 当該分野における職位に相応の十分な教育研究実績を有する者。

## 9. 応募方法

### (1) 応募フォームの送信

必要事項を入力した本学所定の応募フォームを電子メールに添付のうえ、パソコンから学長室企画課宛に送信してください。

・題 名…「摂南大学農学部教員公募応募希望／氏名 \*\*\*\*」

・送 信 先…E-mail: SETSUNAN.Kikaku@joshu.ac.jp

・ファイル名…氏名をご記入ください。

※ファイルにはパスワードを設定のうえ送信ください。設定したパスワードは別途、メールにて当課宛にお知らせください。

※電子メールは選考日時・場所等の案内にも利用します。携帯電話からの送信は連絡届かない可能性があるためお控えください。

## (2) 応募書類の郵送

下記の応募書類を簡易書留にて送付してください。

- ①送付状 (本学所定の用紙)
- ②履歴書・職務経歴書 (本学所定の用紙)
- ③教育研究業績書 (本学所定の用紙)
- ④これまでの教育、研究および職務の概要 (A4用紙2枚以内)
- ⑤教育改善のための実践と抱負 (A4用紙1枚程度)
  - ・教育の改善のため過去に実践した事項や、学生の理解度、習熟度を高めることを目的として今後実践したいと考えていることを具体的に記述してください。
  - ・大学での教育経験がない場合、職場での管理的立場としての指導・改善について記述してください。
- ⑥今後の研究計画 (A4用紙1枚程度)
  - ・今後の研究計画について、具体的に記述してください。
- ⑦主要な業績 2点 (原本、別冊またはコピー可)
  - ・原則として、直近5年以内の業績を含めてください。
- ⑧応募者本人について意見を聞ける方2名の連絡先等 (任意様式)
  - ・氏名、勤務先、職名、電話番号、メールアドレス等連絡が取れる方法を記載してください。
- ⑨各種免許のコピー (食品栄養学科の応募資格で管理栄養士免許が条件になっている場合のみ)

※応募書類のうち、①②③については、必ず本学所定の用紙で作成してください。

(所定用紙以外での応募は、受付できませんのでご注意ください)

※所定用紙は、摂南大学教員公募情報 (URL : <http://www.setsunan.ac.jp/koubo/>) からダウンロード可能です。

※応募書類のホチキス止めはご遠慮願います。

※提出書類に掲載された個人情報、採用選考以外の目的に利用することはありません。

(ただし、採用者については、採用後の雇用管理のために利用します)

※提出書類は、原則として返却いたしません。採用業務終了後、当課で責任を持ってシュレッダーにより処分します。返却を希望される場合は、本学所定の送付状「伝達事項」欄に「返却希望」と記入のうえ、住所・氏名・電話番号を記入した宅配便の着払用伝票を同封してください。

## 10. 応募期限

2018年4月13日（金）【応募書類必着】

## 11. 応募書類提出先

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 摂南大学 学長室企画課 宛

※ 封筒表面に「教員応募書類（農学部XXXX 学科）在中」と朱書きし、「簡易書留」にて郵送してください。

※ 応募書類のご持参はご遠慮ください。

## 12. 選考等

- (1) 第1次選考（書類選考）の結果については、5月初旬に通知する予定です。
- (2) 第2次選考（面接・模擬授業等）は、2018年5月中旬から下旬にかけて実施する予定です。
- (3) 選考の過程で、追加資料や健康診断書等の提出を求めることがあります。
- (4) 第2次選考の結果については、決定次第通知します。

## 13. 問い合わせ先

摂南大学 学長室企画課

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8

TEL. 072-839-9450（平日9:00～17:00） FAX. 072-839-9451

E-mail. SETSUNAN.Kikaku@josho.ac.jp

以上

**建学の精神**

世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。

**教育の理念**

建学の精神に則り、全人の育成を第一義として、人間力・実践力・統合力を養い、自らが課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人を育成する。

**「農学部」設置の経緯と目的**

現代は、世界的には人口増加や食料などの需要増大、国内では農業就業者の高齢化、耕作放棄の拡大、食料自給率の低下などの課題を抱えています。一方で企業の農業参入、ロボット技術・ICT（情報通信技術）・AI（人工知能）を活用した新たな農業などイノベーションの兆しが見られ、食料・農業を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした国内外の情勢を背景にグローバルな視点で食農に関する知識・技能を持ち、食料・農業の課題解決に取り組める人材の必要性は、今後ますます高まると考えられます。

摂南大学ではこれら社会や時代のニーズに応えるべく、2020年4月、「農学部」を設置します。（2019年3月設置認可申請予定）農学部を枚方キャンパスに設置し、既存の薬学部、看護学部とともに、ライフサイエンスの教育・研究ゾーンを構築します。

**摂南大学農学部（2020年4月設置構想中）ホームページURL**

<http://www.setsunan.ac.jp/nogaku/>

## 摂南大学農学部の概要

### 【農学部】

教育研究上の目的	食・農あるいは栄養・健康に関する社会の諸課題を解決する人間性豊かな専門職業人を養成します。
----------	---

### 【農業生産学科（仮称）】

教育研究上の目的	環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、あるいは新技術を開発・普及させるために必要な知識と技術ならびに倫理観を身につけ社会に貢献できる人材を養成します。また、研究の対象となる生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究します。
構成する研究室 (予定)	植物遺伝育種科学、作物生産科学、園芸科学、植物病理学、応用昆虫学、生産生態基盤学

### 【応用生物科学科（仮称）】

教育研究上の目的	生命・生物の諸現象と、その原理とメカニズムを、分子から個体、集団、さらには生態系のレベルで追究し、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸問題の解決に応用できる、広範な知識、豊かな感受性と人間性および創造性を身につけた人材を養成します。
構成する研究室 (予定)	植物分子生物学、植物ゲノム科学、動物機能科学、応用微生物学・発酵科学、植物環境微生物学、バイオーム・情報学

### 【食品栄養学科（仮称）】

教育研究上の目的	人類がより質の高い健康的な生活を実現するために、農学の基礎的な知識・技術および管理栄養士として必要な「食」「栄養」「健康」「医療」「食育」の実践的知識・技術・態度を具えた人材を育成し、地域社会に貢献する管理栄養士を養成します。
構成する研究室 または分野(予定)	公衆衛生学、解剖生理学、調理学、食品加工学、食品衛生学 基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理

### 【食農ビジネス学科】

教育研究上の目的	国内外の農産物および食品の生産・流通・消費に関する社会経済的な諸課題を解決し、今後のあり方を考えるための幅広い教養と倫理観および農業や食品産業に関する社会科学の専門的な知識を身につけるとともに、それを実践的に活用し農業と食品産業の発展に貢献できる人材を養成します。
構成する研究室 または分野(予定)	食料・農業経済学、食料・農業政策学、農業経営学、地域農業論、食品産業論、食品流通論、食品マーケティング論、食農共生論、循環型農業論、国際農業論

## 摂南大学農学部 教員公募 募集分野一覧

### ■農業生産学科（仮称）

以下に示す募集分野のうち、いずれかの分野を担当できることを応募条件とします。

専攻分野	募集分野概要	主たる担当授業科目	職位(人数)
①植物遺伝育種科学	農作物の品種改良に関わる遺伝学、分子生物学、ゲノム科学的事項を探究する。また、これらの基礎的な知見を生かした育種技術の開発、新品種の育成を志向する。	植物育種学 植物遺伝学	教授または 准教授 (2名)
②作物生産科学	耕地における作物の生産性及び物質生産と栽培環境要因との関連を探究し、変動する気象条件ならびに多様な生育環境下での作物の生産性の維持・向上、新たな栽培技術、栽培システムの開発を行う。さらに作物の品種改良や有用な作物遺伝資源の探索と利用を目指す。	作物学 植物形態学 資源植物学 耕地生態学	教授または 准教授 (2名)
③園芸科学	野菜、果樹および花卉の発育特性並びに園芸作物の諸形質の発現と栽培環境との関連を探究し、労働生産性が高く、環境負荷の少ない合理的な栽培管理による高収量・高品質を達成するための栽培技術を開発する、と同時に園芸作物の持つ潜在的な成長能力を開発する。	植物生理学 果樹園芸学	准教授 (1名)
④応用昆虫学	昆虫の分類・系統学、生態学、行動学を追求し、これらの知見をもとに、農作物の害虫防除技術の開発や生産環境の保全に関連する技術を探究する。	応用昆虫学 害虫防除論 多様性生物学	教授または 准教授 (2名)
⑤生産生態基盤学	農作物が育つ土壌環境の改善を土壌成分や栄養、土壌生態系などの観点から追求する。植物生育環境の改善や育成技術を探求する。	土壌学 土壌生態学 植物無機栄養学 生物環境制御学	教授または 准教授 (2名)

※その他、関連科目、学部基礎科目、教養科目、演習（ゼミ）、実験・実習科目等を担当いただくことがあります。

### ■応用生物科学科（仮称）

以下に示す募集分野のうち、いずれかの分野を担当できることを応募条件とします。

専攻分野	募集分野概要	主たる担当授業科目	職位(人数)
①応用微生物学・ 発酵科学	微生物の代謝系と物質生産能力に関する生化学的、分子生物学的な基盤を解明し、発酵や醸造など、農産物の加工などに関する技術探求や微生物機能とその生産物の農業、食品、環境、健康分野への応用を追求する。	応用微生物学 発酵学 生化学	教授または 准教授 (2名)
②動物機能科学	動物の生命現象のメカニズムを分子から個体レベルで探求し、栄養、生理、免疫などに関連する多面的な技術を開発する。	動物生理学 動物栄養学 動物機能科学	教授または 准教授 (2名)

※その他、関連科目、学部基礎科目、教養科目、演習（ゼミ）、実験・実習科目等を担当いただくことがあります。



### ■食品栄養学科（仮称）

以下に示す募集分野のうち、いずれかの分野を担当できることを応募条件とします。

専攻分野	募集分野概要	主たる 担当授業科目	その他応募要件	職位(人数)
①専門基礎分野 (食べ物と健康)	調理の基礎、食事設計、食文化と調理、食事管理など、調理学に関する研究・教育を行なう。	調理学 調理学実習	修士の学位またはそれと同等以上の教育・研究業績を有すること。	教授または 准教授 (1名)
②応用栄養学 (基礎栄養学)	基礎栄養学、栄養ケア・マネジメント、食事摂取基準の根拠、成長・発達・加齢（老化）、ライフステージ別栄養マネジメント、運動と栄養及び環境と栄養等、基礎栄養学及び応用栄養学に関する教育・研究を行う。	応用栄養学 応用栄養学実習 基礎栄養学 基礎栄養学実験	1. 博士の学位またはそれと同等以上の教育・研究業績を有すること。 2. 管理栄養士の免許を有することが望ましい。	教授または 准教授 (1名)
③専門分野 (栄養教育論)	栄養教育プログラム作成・実施・評価を総合的にマネジメント、行動科学理論に基づいた栄養カウンセリング、栄養教育教材、食育推進のためのプログラム、健康・栄養状態や食行動など、栄養教育に関する研究・教育を行なう。	<専門科目> 栄養教育論 栄養教育論実習 <教職科目> 栄養教育実習 栄養教育実習事前・事後指導、 教職実践演習(栄養教諭)、 児童生徒の栄養指導	1. 管理栄養士の免許を有し、担当する教育内容に関し5年以上の教育研究もしくは実地指導に従事した経験を有すること。 2. 修士の学位またはそれと同等以上の教育・研究業績を有すること。 3. 栄養教諭の免許を有することが望ましい。	教授または 准教授 (2名)
④専門分野 (臨床栄養学)	疾病・身体状況に対応した栄養管理、臨床症状に対応した栄養補給法、臨床症状と栄養障害の評価、臨床症状、臨床における客観的栄養評価と栄養診断など、臨床栄養に関する研究・教育を行なう。	臨床栄養学 食物とアレルギー 臨床栄養学実習 臨床実習事前・事後指導(演習)	1. 管理栄養士の免許を有し、担当する教育内容に関し5年以上の教育研究もしくは実地指導に従事した経験を有すること。 2. 修士の学位またはそれと同等以上の教育・研究業績を有すること。	教授または 准教授 (1名)

⑤専門分野 (公衆栄養学)	管理栄養士が担う地域の公衆栄養活動、地域保健における保健・医療・福祉・介護システムの栄養関連サービスプログラムの作成・実施・評価を総合的マネジメント、栄養疫学、コミュニケーション論など公衆栄養学に関する研究・調査及び教育を行なう。	公衆栄養学 公衆栄養学実習(学内) 臨地実習事前・事後指導(演習)	1. 管理栄養士の免許を有し、担当する教育内容に関し5年以上の教育研究もしくは実地指導に従事した経験を有すること。 2. 修士の学位またはそれと同等以上の教育・研究業績を有すること。	教授または准教授 (1名)
------------------	---	---	--	------------------

※その他、関連科目、学部基礎科目、教養科目、演習(ゼミ)、実験・実習科目等を担当いただくことがあります。

### ■食農ビジネス学科（仮称）

以下に示す募集分野のうち、いずれかの分野を担当できることを応募条件とします。

専攻分野	募集分野概要	主たる担当授業科目	職位
①食料・農業経済学	食料の生産と消費、経済発展と農業、農産物の需給動向などに関する経済問題を理論的・実証的に探究する。	ミクロ経済学 食料・農業経済学 現代日本農業論	教授または 准教授(2名)
②食料・農業政策学	わが国や諸外国の食料政策・農業政策の効果と課題、政策理念や目的と農業の変化などについて理論的・実証的に探究する。	食料政策学 農業・農村政策学 食と農の現代史	
③農業経営学	農業の企業形態、農業経営の組織・管理、農業経営の発展方向と経営戦略などについて理論的・実証的に探究する。	農業経営学 農業簿記・会計学 6次産業化論	教授または 准教授(2名)
④地域農業論	地域農業の構造と展開方向、農村資源の管理・活用方法や地域社会の再生・活性化の方向などについて理論的・実証的に探究する。	地域農業論 地域マネジメント論 地域資源管理論	
⑤食品産業論	食品産業の産業構造と経営戦略の展開、農業と食品産業の関連のあり方などについて理論的・実証的に探究する。	食品産業論 食品産業経営戦略論 食品産業経営分析論	教授または 准教授(3名)
⑥食品流通論	フードシステムと農水産物や食品の市場・流通の展開方向、協同組合の役割などについて理論的・実証的に探究する。	フードシステム論 農水産物市場・流通論 協同組合論	
⑦食品マーケティング論	食品や農産物のマーケティングの戦略とその展開方向、農産物のブランド化の方向などについて理論的・実証的に探究する。	マーケティング戦略論 食品・農産物マーケティング論 農産物ブランド戦略論	

⑧食農共生論	食と農の共生や都市・農村の共生の課題と今後あり方、農村ツーリズムのあり方などについて理論的・実証的に探究する。	都市農業論 地産地消論 農村ツーリズム論	教授または 准教授(2名)
⑨循環型農業論	環境保全型農業や有機農業の課題と今後の展望、NGO・NPOの役割などについて理論的・実証的に探究する。	環境保全型農業論 有機農業論 NGO・NPO論	
⑩国際農業論	国際的な食料需給の動向とフードシステムの構造、食料・農産物貿易のあり方などについて理論的・実証的に探究する。	国際フードシステム論 国際食料需給論 食料・農産物貿易論	教授または 准教授(1名)

※その他、関連科目、学部基礎科目、教養科目、演習（ゼミ）、実験・実習科目等を担当いただくことがあります。